

4年生保護者の皆様

令和4年度 4学年「国語科」シラバス

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指します。

評価の観点

評価の観点	どんな学力か
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりする。
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えをまとめる。
学びに向かう力	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさに気付こうとするとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとする。

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 発言、発表 音読・朗読 単元テスト 小テスト
ワークシート 作文 ノート 提出物

学習計画

月	単元名	主な学習内容	家庭学習に取り組めること
4月	○春のうた/春のたのしみ ○白いぼうし ○漢字の組み立て ○漢字辞典の使い方	・春の風景に興味をもち、知っている語句を増やす。 ・人物の行動や心情、場面の様子などがよく伝わるよう、音読する。 ・漢字がへんやつくりなどから構成されていることを知る。 ・漢字辞典の使い方を知る。	年間を通して ・音読 ・漢字練習 「白いぼうし」
5月	○聞き取りメモの工夫 ○思いやりのデザイン/ アップとルーズで伝える/ 【じょうほう】考えと例	・必要なことを記録したり質問したりしながら聞く。 ・筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係を捉える。 ・情報と情報との関係に「考えと例」があることとその大切さを知る。	「アップとルーズで伝える」 ・文作り
6月	○カンジーはかせの都道府 県の旅/漢字の広場 ○お礼の気持ちを伝えよう ○一つの花	・都道府県名や3年生までに習った漢字を使って文を作る。 ・手紙の型を知り、それに沿って手紙を書く。 ・人物の性格や気持ちの変化、情景などを、叙述を基に想像して読む。	「一つの花」 ・夏の言葉集め ・文作り
7月	○つながぎ言葉のはたらきを知ろう ○短歌・俳句を楽しもう 【じょうほう】要約するとき ○新聞を作ろう/ アンケート調査のしかた	・文と文の意味のつながりを押さえて、接続語を使う。 ・言葉の調子や響きを楽しみながら、声に出して読む。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。 ・新聞の特徴と作り方を知り、話題を決めて、伝えたいことが明確に伝わる紙面を作る。	・読書 ・新聞のスクラップ
9月	○夏のたのしみ ○ランドセルは海をこえて ○忘れもの/ぼくは川 ○あなたなら、どう言う	・夏の風景に興味を持ち、知っている語句を増やす。 ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付く。 ・二つの詩を読んで、それぞれの感じ方の違いに気付く。	「ランドセルは海をこえて」 「忘れもの/ぼくは川」
10月	○パンフレットを読もう ○いろいろな意味をもつ言葉 ○ごんぎつね	・目的や進め方を確認して話し合い、よりよい伝え方を知る。 ・知りたい情報を得るためのパンフレットの読み方を知る。 ・多義語があることを知り、語彙を豊かにする。 ・登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む。	「ごんぎつね」 ・秋の言葉集め
11月	○秋のたのしみ ○クラスみんなで決めるには ○世界にほこる和紙	・秋の風景に興味をもち、知っている語句を増やす。 ・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合う。 ・それぞれの段落が文章全体の中で果たしている役割を考えながら読む。事典の使い方を知る。	「世界にほこる和紙」 ・慣用句調べ 「プラタナスの木」
12月	【情報】百科事典での調べ方 伝統工芸のよさを伝えよう ○慣用句 ○プラタナスの木	・段落の関係にも注意して文章を書く。 ・慣用句の意味を知る。 ・物語を読み、その魅力について紹介する文章を書く。	・詩作り ・冬の言葉集め 「ウナギのなぞを追って」
1月	○感動を言葉に/自分だけの詩集を作ろう ○冬の楽しみ ○ウナギのなぞを追って ○つながりに気をつけよう	・言葉を選んで詩を書き、自分の詩集を作る。 ・冬の風景に興味をもち、知っている語句を増やす。 ・文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもつ。 ・主語と述語の関係、修飾と被修飾との関係、指示語や接続語の役割について知る。	
2月	○もしものときにそなえよう	・自然災害への備えをテーマに、調べて分かったことが相手に伝わるように組み立てを考えて文章を書く。	
3月	○調べて話そう、生活調査隊 ○まちがえやすい漢字 ○初雪のふる日	・言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す。 ・なじみのない読み方をする言葉があることを知る。 ・物語を読んで感じたことをまとめ、伝え合う。	・言葉調べ 「初雪のゆる日」